

や積雪を除いては変動幅が小さい。また気象要素との相関係数も大きいとはいえないので、本文では実験式を求めることは避け、各要素との関係を概説するに留めた。大都市の交通事故対策の多少とも参考になるところがあれば幸である。

おわりにのぞみ、事故資料の提供を受けた警視庁交通部総務課に対して厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 1) 安田 浩, 1962: 交通事故と気象要素の関係, 研究時報, 14-12, 59-61.
- 2) 窪田為延, 1959: 気象変動と交通死亡について, 天気, 6-7, 216.
- 3) 警視庁交通部交通企画調査室, 1971: 東京の交通事故, 昭和45年中(第1集), 2.
- 4) 警視庁交通部交通企画調査室, 1971: 東京の交通事故, 昭和45年中(第2集), 21.

第16期第17回常任理事会議事録

日時 昭和47年3月7日 17.00~18.30

出席者 山本, 大田, 関口, 関原, 小平, 神山, 川村,
伊藤, 岸保, 各常任理事

議題

1. 沖縄復帰に伴う措置について(総会提出議題)
 - (1) 沖縄文部を置くことについて
 - (2) 沖縄地区の理事の定数と1名とする細則の一部改正について
原案を承認する。
本件は各理事に書面審査を依頼する。
2. 東亜国内航空株式会社より申請のあった気象研究

ノート第94号の再版について

著作権の使用を許可する。

著作権料は、時価の10%とし、再版した刊行物には「日本気象学会の厚意により、気象研究ノート第94号より再録したものである」等を印刷させる。

なお、上記のような場合については、今後もこの原則によることとする。

3. 日本気象学会関西文部規約の一部改正について
細則第1条の規定により各理事に書面審査を依頼する。